南区 菊住学区

住民交流 健康•福祉 青少年育成 環境•美化

防災 防犯•交通安全 歴史・文化・芸術

防災対策



【菊住学区】

■世帯数:3.736世帯

■人 □:8,575人

■面 積:0.745k㎡

平成24年4月1日現在

その他

活動・取り組みの内容 1

様々な防災対策を実施。延べ参加者数は約410人。

- 町内ごとに防災マップを作成し、要援護者・支援者を特定し、その居住地を マップに記載する。
- 木造住宅の居住者に名古屋市無料耐震診断を受けることを勧める。
- ・ 菊住コミュニティセンターにおいて家具の転倒・ガラスの飛散防止対策実践 講習会を行うほか、独居高齢者および高齢者世帯を中心に、町内有志により 実施する。
- 津波避難ビルへの避難訓練を実施する。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧、掲示板への掲示、該当者を直接訪問

きっかけ、背景 2

菊住学区は天白川・山崎川の両方に接しており、東海集中豪雨時の経験や、災 害予測の情報から、学区住民は豪雨・地震・津波に対する防災対策が急務である という認識が高く、地域全体での防災対策をはじめることとなった。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、消防団員、少年補導委員、コミュニティセンター館員 計約 70 人

(2)他団体との協力

地域内商業施設

(3) 運営協力

町内会長を中心に、消防団、民生委員等の協力を得ている。

4 実施のスケジュール

H22年 学区全世帯を対象に「防災アンケート」を実施 防災マップの作成(町内ごと) アダブス かせつ (アカブト)

要援護者・支援者の特定(町内ごと)

12月〜 H23年中 木造住宅名古屋市無料耐震診断おすすめ

H23年 「災害ボランティアネットワーク」会員等を講 師に家具の転倒、ガラスの飛散防止対策講習会 の開催

H24年 6月~ 家具の転倒、ガラスの飛散防止対策実施

H24年 7月 要援護者・支援名簿の再登録を呼び掛け

5 成果と課題

(1) 成果•効果

防災対策についての住民意識が高まり、住民間の交流が深まった。

(2) 苦労した点

木造住宅耐震診断、家具の転倒防止対策等は住民の理解を得るのに苦労した。民生委員の協力は大きかった。

(3) 今後の課題・展望

担い手の世代交代と他団体との協力を進め、活動を継続する。